

ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKO ROTARY CLUB WEEKLY



広島空港ロータリークラブ週報

会長 松本邦雄 / 副会長 橋濱智美 / 幹事 佐々木正親 / SAA 鶴田秀樹

2017年5月17日発行

事務所 〒729-0417 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会内2F

TEL 0848-86-0986・FAX 0848-86-0992・E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp・http://hiroshima-kuko-rotary.jp/

例会場 〒729-0416 三原市本郷町善入寺64-25 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111 FAX 0848-86-9222

MEY 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

休会

例会

例会 (フォレストヒルズガーデン)

例会

本日のプログラム (5月17日)

例会場 フォレストヒルズガーデン
「今年度活動報告・引継事項」

次回のプログラム (5月24日)

クラブ協議会
「次年度委員会別活動計画立案」

第1073回 2017年5月10日 例会記録

点 鐘…松本会長

ソング…「君が代」「四つのテスト」

ビジター紹介

(三原)次年度G9 ガバナー補佐 福島偉人様

// ガバナー補佐幹事 田坂 潤様

出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (5/10)	27 1	20 1	1	6	74.07
メイク	灰谷				
前々回 (4/16)	27 1	14	6	9	65.38
メイク	熊谷・澤井・重森・乗越・松本・三好				

食事時間

MENU

野菜の彩りサラダ にんじンドレッシング
 ペイザンスープ
 鶏胸肉のソテー香味ソース
 パン・コーヒー



副会長時間



今日は会長がお休みということで、副会長時間とさせていただきます。

本日は次年度ガバナー補佐の福島様、補佐幹事の田坂様ありがとうございます。次年度よろしくお願いたします。

そして桑木様お忙しい中おいでいただきありがとうございます。広島空港の事について教えていただけるので、私たち広島空港ロータリークラブとしてはとても興味深く後程の卓話の時間を楽しみにしております。

大変おめでたい報告がございます。我がクラブの近藤一也さんが春の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。更生保護功労(保護司30年)本日はそのためにお休みですが、次回例会に出席された時にお話しをお伺いしたいと思っております。又、クラブとしてお祝は、本日の理事会で決めさせていただきます。

幹事報告

《配布物》卓話資料・週報1072号

ロータリーの友・ガバナー月信

《回覧》地区補助金決定通知書

琳娜さんからのメール

4クラブ親睦ゴルフコンペ組合わせ

《お知らせ》次週5月17日例会は

フォレストヒルズガーデンとなりますのでお間違えの無いようお願いいたします。

次年度G9 ガバナー補佐 福島様 挨拶

皆さんこんにちは。貴重な時間をいただきましてありがとうございます。次年度G9のガバナー補佐を務めさせていただきます福島でございます。1年間しっかり頑張りますので応援をしていただきたいと思います。



会長、幹事、各委員長さん方が、各クラブにおいてしっかり活動ができるようにサポートしながら、また藤中ガバナーをサポートしながら1年間務めていきたいと思っております。

私自身は、常に問題意識を持って、目標を持って実行してきた人間であります。やってきたことは殆ど実現できています。是非皆様方も私の何か良い事があれば活かして頂ければと思います。私と田坂さんとで各クラブ年に4回お邪魔しますのでまたよろしく願います。

地区研修・協議会報告

会員組織部門 三好次年度委員長

カウンセラーに西村栄時パストガバナーを迎え、地区内の会員増強事例発表、規定審議会決定されたクラブ運営の柔軟性と会員増強、カウンセラーの講話、をテーマに行われました。



事例発表では、広島東南・福山赤坂・周南西クラブが発表され、それぞれ広島東南 10人・福山赤坂 3人・周南西 10人、の増強に成功されたそうです。やはり会員増強に特効薬はなく、どこのクラブも若い人や、女性をターゲットにして、地道にリストアップをし、勧誘を続けて行った結果が会員増強につながったようです。

規定審議会決定されたクラブ運営の柔軟性と会員増強では、例会の回数や開催時間(早朝・昼間・夜間等)をその地域に合わせて柔軟に変えていくことで、会員増強にもつながるのではないかという話でした。

卓 話 時 間

広島県の平成29年度主要事業について



桑木 良典 様

「広島空港民営化に向けた現状と 県政の動き」

皆さんこんにちは。広島県議会議員の桑木良典と申します。本日は広島空港ロータリークラブの例会でこのような貴重なお時間をいただきまして誠にありがとうございます。

今日私がこちらに来させていただきましたのは、鶴田さん、河井さん、副会長の橋濱さんとPTAの関係で学校、地域でいろいろお世話になっている中でこのような機会をいただいた訳でございますが、今日のお話させていただく中身が、皆様の職場等で少しでも話題等なればと思っておりますので、何卒よろしく願います。

広島県の平成29年度予算が成立

2月16日から3月15日まで2月定例県議会が開催されました。平成29年度予算編成や事業を推進する基本方針として「広島からの地方創生～仕事も暮らしも欲張りなライフスタイルの実現」に向けて、産業振興や雇用の創出、観光や交流人口の拡大を図る施策を積極的に展開し、広島県が個性豊かでより暮らしやすい地域になるよう取り組みを進めて参ります。

今年は知事2期目の最終年度(任期は11月)であり、これまで推進してきた「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づき、「災害に強いまちづくり」「人づくり」「働き方改革」などの政策を更に加速する内容となっています。人口減少やグローバル化に対応するための平成29年度広島県一般会計予算(9,779億円)や「ひろしまの森づくり県民税条例」の一部改正、「NPT運用検討会議における核軍縮・核不拡散の更なる推進に向けた合意文書の採択を求める決議」や「介護職員の人材確保の強化」を国に求める意見書など、61件の議案について審議し可決しました。

主な事業としては、災害に強い県土づくりに向けた砂防えん堤や防潮堤等の海岸保全施設の整備(186億円)や、県内企業の新規事業の展開や雇用確保を支援する事業(2億7,800万円)、企業立地の促進や産業用地の確保に取り組む市や町への助成(43億7,000万円)、ひろしま農業創生事業として、担い手の育成や独立就農の支援(1億5,200万円)、急性期医療から在宅医療・介護まで一連のサービスが適切に提供されるための地域医療介護総合確保事業(50億4,900万円)が実施されます。

現在、建設委員会副委員長として、公共施設の整備や維持管理、土砂災害や高潮対策、河川の堆積土の浚渫などの事業に取り組んでおり、洪水などに備えた河川の堆積土などの撤去に充てる事業費を「社会資本未来プラン」で位置づけ、平成23～27年の総事業費は31億2,000万円でしたが、ここ5年間は総額40億円に増額したところございます。

依然厳しい県財政ではございますが、皆様からの声を県政に届け、「安心な暮らしづくり」を基本とした元気な広島の創造に向けて精力的に活動して参ります。

区分	H29	前年度比	備考
県	3,505	▲22	法人二税の増など
地方交付税	1,585	▲148	普通交付税の減
県債	1,147	▲77	
うち臨時財政対策債	598	▲38	(実質的な地方交付税)
国庫支出金	975	▲54	児童給付金制度の廃止に伴う減など
その他の歳入	2,566	▲20	地方消費税清算金の減など
歳入合計	9,779	▲277	
うち一般財源総額	5,660	▲371	
法的義務負担経費	3,545	▲246	
うち社会保障関係費	1,302	▲35	後期高齢者医療費負担金の増など
うち市町への税交付金等	1,551	▲150	個人県民税所得割交付金の増など
経常的経費	4,002	▲576	
人件費	2,446	▲530	県費負担職員削減の見直しに伴う減など
職員給与費等	2,201	▲453	
退職手当	245	▲76	
公債費	1,556	▲47	
政策的経費	2,232	54	
公共事業	778	13	
補助公共	475	▲5	
単独公共	244	14	建設事業の増など
災害復旧事業	59	4	
その他の事業	1,454	40	預託制度運用費の増など
歳出合計	9,779	▲277	
うち一般歳出	6,672	▲380	

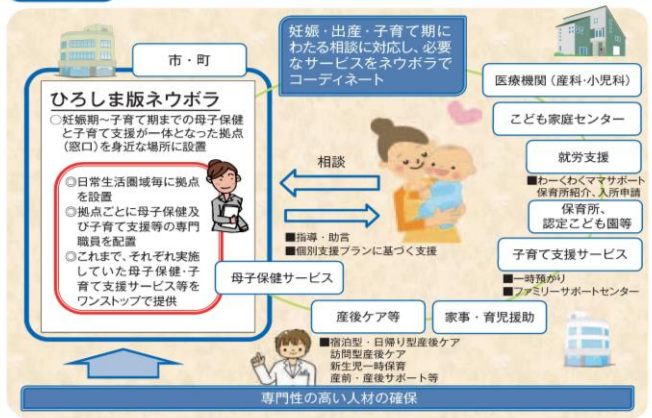
(出典：広島県財政課・単位：億円)

母子保健と子育て支援が一体となった「ひろしま版・ネウボラ」構築モデル事業(7,792万円)

核家族の増加などに伴い、出産や子育てへの不安の声が高まっており、よりサポート体制を強化していく必要があることから、妊娠から出産、子育てや保育所への入所申請の方法、就労の相談・支援まで一体となった支援体制を整備していくこととなりました。事業の効果や課題を検証するため「モデル事業推進会議」を設置し、今年度はモデル事業として3市町(尾道市、福山市、海田町)が設ける約20箇所の運営費を支援します。平成33年までに県内23市町と連携し全市町への設置を目指して取り組みを進めます。

ひろしま版ネウボラの狙い

- 保健師等が継続的に対応することによる信頼関係の構築により、**育児の安心感**を与える。
- ⇒ **身近な場所(125日常生活圏)**での相談体制
- リスクの予防、早期発見、早期支援を図る。
- ⇒ 母子保健と子育て支援が一体となった**ワンストップサービス**による切れ目のない支援



妊娠期～子育て期にわたるまでの総合支援

妊娠前	妊娠期	出産	産後	子育て期
妊娠に関する普及啓発	妊婦健診	乳児家庭全戸訪問	定期健診	子育て支援・就労支援 ・定期検診・予防接種 ・育児相談・就労支援 ・保育所・認定こども園等
不妊相談	両親学級等	産後ケア 宿泊型、日帰り型、訪問型 産前・産後サポート等	予防接種	保育所・認定こども園等
				家事・育児援助

ネウボラの解説

「ネウボラ」はフィンランド語で「アドバイスの場所」という意味。フィンランドのネウボラは、妊婦診察や乳幼児健診など産前・産後・子育ての切れ目のない支援を行うための「地域拠点」で、国策として800箇所以上設置され、様々な相談に対応している。

「ひろしま さとやま未来博2017」を開催(3月25日開幕～11月まで)

人口減少が進む県内の中山間地域の振興策のひとつとして、地域で頑張っておられる方をサポートする人材のネットワークづくりを加速させるため、その起爆剤となる県民参加型の大規模プロジェクトを開催します。地域の担い手となる若手リーダーの育成や広島の豊かな自然に魅力を感じ「広島で地域の皆さんと色んなことをやってみよう」という首都圏や県内外の若者と地域住民の皆様を結び、交流促進を図る機会をつくっていきます。

中でも地域で役割を終えた学校を新たな地域の拠点として甦らせる「廃校リノベーション」事業(県内3箇所)の1つに三原市大和町の旧和木小学校が選ばれました。2020東京オリンピック・パラリンピックの国立競技場をデザインされた建築家の隈 研吾(くま けんご)様の監修で、学校がどんな姿に生まれ変わるのかとても楽しみです。ご期待下さい!



改築前の旧和木小学校の外観写真 内装の完成イメージ図 (出展：ひろしま山交直プロジェクト実行委員会)

さとやまソーシャルライド

県内350箇所以上のチェックポイントを自転車ですりまわります。専用アプリを使いチェックポイントの写真をSNSで投稿するとポイントが貯まりプレゼントを獲得するチャンスもあります。是非ともご家族や友人の方々と参加していただき、地元・広島の良いところを再発見して下さい。

参加方法

- 1 各種スマートフォンで、専用アプリ「さとやまソーシャルライド」をダウンロードし、登録します。
- 2 行きたいチェックポイント(ログスポット)を探索して選択すると、自動的にルートが算出されます。
- 3 ログスポットを訪れ、SNSで写真を投稿するとポイントを獲得。

本郷産業団地の進捗状況と今後の事業スケジュールについて

以前の活動報告に掲載した産業団地の造成ですが、平成29年度は伐木や工事用道路の整備、井戸等の水質調査業務を実施する予定です。近隣の皆様をはじめ引き続きのご理解とご協力をお願いします。

今後の事業スケジュール表

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
単独設計	●						
許認可申請		●					
区域内上下水道設計			●				
公告～技術審査				●			
井戸等水質調査業務					●		
確定測量						●	

▲旧和木小学校側から見た完成予想図

活動の中で取り組んでいる地域で実施される主な事業(内は予算額)

- 瀬戸内海水産資源増大対策事業(2,416万円)
漁業生産額の減少を改善するため、地域の核となる魚種(ガザミ、キジハタ、オニコゼなど)を集中放流し水産資源の増大を図る。
- 生活航路維持確保対策事業(6,400万円)
離島の暮らしの維持に不可欠な航路への支援や、架橋で結ばれた地域の経済活動の維持に不可欠な時間短縮効果に優れた航路への支援。
- かんきつ産地競争力強化対策事業(5,768万円)
中晩柑等をレモンに高接ぎ更新することにより、生産者の収益を確保し生産量を拡大。
- 鳥獣害に強い集落等育成推進事業(1億4,900万円)
市町が策定する活動計画に基づき、集落住民への啓発や集落ぐるみの鳥獣被害対策への取り組みを支援し、鳥獣被害対策指導者等の育成や捕獲技術の向上を図るための各種研修等の実施。
- 県道三原本郷線(1億8,600万円)
三原駅から佛通寺等への観光施設へのアクセス道路の整備を促進。
- 国道432号加茂バイパス(1億400万円)
広島空港と尾道松江線世羅ICを相互に連絡する道路の整備を促進。
- 海岸整備・尾道系崎港機械地区(2億1,000万円)
高潮・津波に対する海岸保全のための護岸や堤防等の整備。
- 三原警察署・宮沖交番の移転建替(4,061万円)
地域住民の治安を守る交番の機能を確保するため、老朽化した現在2号沿いにある交番を市立宮沖保育所跡地に移転し建替える。
平成30年春に完成見込。(住所:宮沖5-5-1)

移住希望地ランキングで平成28年広島県が全国第4位に上昇

東京のNPOふるさと回帰支援センターの調査によると、平成26年には移住希望地ランキングが18位だった広島県が一気に4位まで順位を上げました。(平成28年:1位山梨・2位長野・3位静岡)所属会派で予算特別委員会の参考人としてセンターの高橋理事長を招聘してご意見をいただき、私も質問に立ち、執行部と如何に広島県を移住定住先として選んでいただくかについて議論を行いました。県当局も全国の自治体に先駆けて専門窓口を東京の有楽町に開設し、県職員を配置して精力的に対応があったことがこの結果につながったものと考えています。首都圏をはじめとした県外の多くの方々に広島県の魅力を伝え、まずは訪れていただき「移住を検討するなら広島県」となるようにこれからも関係機関と連携して頑張っております。

**県議会の会派構成と県財政について
広島県議会・会派一覧 (H29.5.1現在)**

会派名	略称	議員数	友好会派
自由民主党広島県議会議員連盟	自民議連	30名	○
広島県議会議民政策会	民主政策会	15名	○
自由民主党広島県議会議員会	自民会	7名	
公明党広島県議会議員団	公明党	6名	
自由民主党広島県議会広志会・つばさ	広志会	5名	
日本共産党	共産	1名	
合計	6会派	64名	45名

○国勢調査より選挙区定数を見直し。H27の改選時に総定数66が64議席に。
・1増(広島市安佐南区) / ・1減(尾道市・福山市・呉市)
○選挙後に会派の再編。改選前 9会派 ⇒ 6会派(自民系1人会派が合流)

国と広島県の財政状況

(国)
○平成28年度末・債務残高 約844兆円
平成27年度の税込・約57.6兆円(予算96.7兆円)
⇒ 税込でいえば約15分分に相当

(広島県)
○広島県平成27年債務残高 2兆1,625億円
※その内、臨時財政対策債 8,269億円
平成27年の県税収入 3,357億円

広島県の財政を家計(県平均・年収約470万円)に例えると・・・

主な収入	金額
給与(県税収入など)	198万円
親からの仕送り(国からの交付金や補助金)	192万円
銀行等からの借入れ(県債など)	78万円
主な支出	金額
家族の食費(人件費)	198万円
医療費や教育費(社会保障関係費など)	18万円
光熱水費(物件費)	17万円
住宅の修繕・電気製品や生活必需品の購入代(公共事業費など)	69万円
ローンの返済(公債費)	87万円
子供への仕送り(市町への交付金)	78万円
貯金と借入金	金額
貯金(財政調整基金)	3万5千円
ローンの残高(県債残高)	1,355万円

広島空港の経営改革に係る県の基本方針 概要版

I 策定の趣旨 地域の声を反映した空港経営改革を進め、広島空港の更なる活性化を図っていくための県の考え方を基本方針として策定

II 広島空港活性化の基本的方向性

空港活性化の方針

広島空港の目指す将来像～広島からはじまるグローバルネットワーク

多様で利便性の高い航空ネットワーク、高いアクセシビリティの実現により、大規模空港に流出する人流・物流を変え、広島空港を結節点とした交流・連携を促進し、充実した高速道路網で結ばれた瀬戸内・やまなみエリアを中心とする中四国地方の拠点空港として地域を持続的な成長を支える拠点となること

区分	項目	主な方針
ネットワーク戦略	ネットワーク拡充の方向性	・羽田線・アウトバウンドのビジネス需要の底上げ ・欧米豪観光客の取り込み(羽田、成田経由の拡大) ・東アジア路線の増便・ハブ利用拡大及び東南アジア路線の誘致 ・LCC強化(成田LCCによる新規需要の拡大、将来の拠点空港化)
	空港機能強化	・空港施設の拡張(エプロン増設、マルチスポット化の推進) ・空港運用時間の延長
	空港間連携	・経由便や就航路線の増便等における誘致連携 ・空港片道利用を念頭においた近隣空港等との連携
空港アクセスの方向性	道路系アクセスの強化	・広島都市圏からのアクセス強化(広島高速5号線、国道2号東広島・安芸BPの早期整備推進によるトリプルウェイ化) ・広域・多様なアクセスの実現(高速道路網を生かしたアクセスネットワークの充実等)
	軌道系アクセス	・軌道系アクセスについては、速達性の向上、定時性の確保及びリダンダンシーの確保を含む柔軟性の向上といった観点に着目しつつ、利用者ニーズを踏まえながら総合的に検討

空港経営改革の推進

(導入の狙い)

- ・成長の好循環…空港全体の戦略投資(民間ノウハウの活用)による路線拡大や旅客増の成長サイクル
- ・地域の活性化…空港活性化に向けた地域の関係者と運営権者の連携した取組の活発化

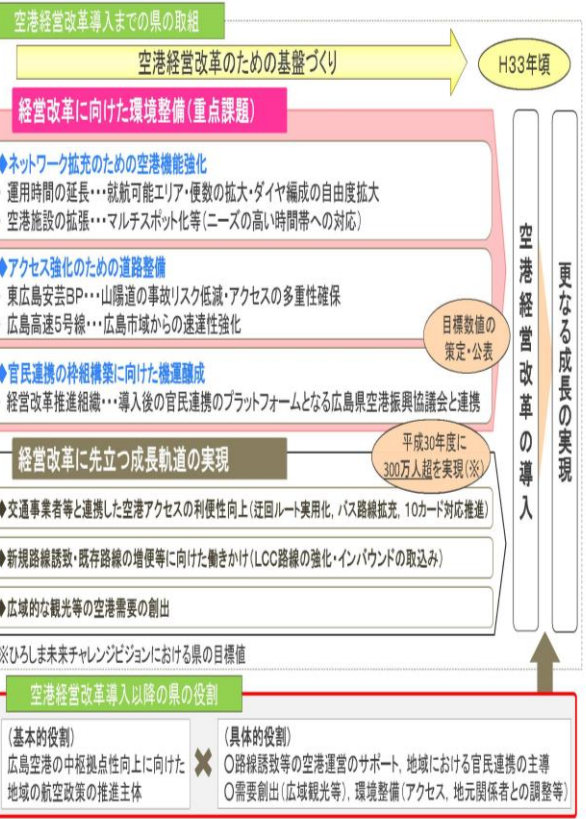
(空港経営改革を通じた実現目標)

- ・公募手続きに先立って、地域として目指す将来の目標数値を策定する。(公募までに公表)

(空港経営改革の導入時期)

- ・民間委託への移行に必要な環境整備や、他空港の状況を踏まえ、**平成33年頃の導入**を目指す。(道路整備の推進や運用時間延長等で民間委託の効果が発揮しやすい環境づくり/より多くの事業者の公募参加の促進)

空港活性化に向けた県の空港振興施策



III 空港経営改革の実施スキーム等に係る考え方

以下の考え方を基本として国等と調整し、今後国において実施されるマーケットサウンディングにおける民間事業者の意見も踏まえて、具体的な方針を整理。

項目	県の考え方
事業範囲(空港周辺施設)	・県営駐車場をはじめとした周辺施設を含む一体利用を促進 ・駐車場については、空港駐車場だけでなく(県営駐車場等も含めた)駐車場機能を総合的に考慮した運営が行われる手法を検討
運営権者との連携	・県・運営権者間のパートナーシップ協定の締結を検討 ・運営権者の既存官民協議会への参加義務付け(広島県空港振興協議会を官民連携のプラットフォームとして機能強化)
安全確保・空港機能の安定的な維持	・事故発生時の危機管理体制の明確化(最終責任を国が負う体制)
ビル事業の譲渡方法	・株式譲渡による円滑な事業移行
事業期間	・更新投資の負担が過大とならない範囲で長期(30年程度)

IV 実施スキーム等に係る国への提案

公募手続きを行う国に対する、実施スキーム等についての提案

V 導入プロセスにおける地域の取組

官民での空港経営改革の推進(広島県空港振興協議会と連携した推進組織の立ち上げ)

- ・空港経営改革導入後の官民連携のプラットフォームとなる同協議会の機能強化
- ・勉強会の企画運営を通じた機運醸成(地域からの情報発信、県内外の企業等の交流促進)

広島空港民営化検討について

【議論の背景】

○国土交通省の成長戦略(H22年5月)で「民間の知恵と資金」を活用した空港経営の抜本的効率化を図る方針が打ち出される

○空港運営のあり方検討会(H23年7月)にて「真に魅力ある空港の実現」と「国民負担の軽減」に向け、国管理空港の経営の一体化、民間への運営委託を行う「空港経営改革」を実施

○「民活空港運営法案」を国会に提出(H24年3月)

→衆議院解散で廃案となるも、次期通常国会に再提出・H25年7月に成立



○結果、広島空港が改革を先行する空港との認識が示される



【広島県の基本認識と対応】

○空港経営改革はそれ自体が目的ではなく、利用者利便性の向上の手段である

○広島空港振興協議会・空港活性化部会に意見を求める

議論されたメリットとデメリット

☆メリット

- ・国際定期便の路線、便数等に関する制限を撤廃
 - オープンスカイ(空港自由化)の推進
- ・着陸料の軽減によりLCCをはじめとした新規航空企業の参入促進
 - 低運賃による利用者増とリピーターの獲得
- ・空港関係施設の一体的な経営による事業の効率化
 - 国と県と空港ビルディングの3事業体 ※民営化後も管制塔は国

▼デメリット

- ・中四国の拠点空港である広島空港の機能アップを国も担うべき
 - 周辺アクセス道路などの整備などが遅れる懸念
- ・大規模災害や事故が起きたときの対応についても懸念→基本方針は国が対応

国際線の拡大に向けた課題

国際線における二極化

訪日需要が大幅に増加する中、大規模空港は利用を増。中規模以下の空港では利用が伸び悩んでいる。

アウトバウンド

県民の40%が広島空港を利用。一方、40%が関空と福岡空港を利用。(LCCと路線の豊富さなど)

インバウンド

広島県訪問者のうち、広島空港利用者は20%弱。成田・羽田が60%。(ハブ空港からの直行便の強化)

地方空港における外国人旅客数

空港名	週路線数(H18)	旅客数(H18)	週路線数(H26)	旅客数(H26)	増減率
広島空港	7路線・33便	34.7万人	4路線・28便	28.6万人	17%減
福岡空港	19路線・152便	220万人	19路線・237便	344.9万人	57%増
那覇空港	4路線・25便	22.9万人	8路線・110便	142.7万人	523%増
仙台空港	6路線・22便	33.1万人	5路線・15便	16.6万人	49%減(震災)

広島空港振興協議会・空港活性化部会は
平成28年9月6日に早期民営化を広島県知事に提言
(部会長 広島商工会議所・副会頭 広田 亨 氏他市町と経済団体)

他の空港の動き

- ・関西空港4月～、仙台空港7月～ 民営化事業がスタート
- ・現在、高松、福岡、新千歳空港が具体案を検討中

広島県の動き

- ・知事が10月11日の記者会見で民営化を進める方針を表明



- ・平成29年3月末に基本方針を策定
- ・運営会社は公募(平成33年頃に民営化を目指す)
- ・運営会社との協定締結により県も連携を確保する

災害に強いまちづくりについて

・土砂災害危険個所の基礎調査(H30)警戒区域の指定(H31)

・広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の推進

【水害から生活を守る取り組み】

沼田川では平成11年6月梅雨前線豪雨など、過去に度々浸水被害を受けており、河道の拡幅及び河床掘削により流下能力を高める必要があるため、取水堰を移転・新設します。

(事業の概要)

- ・取水堰:L=93.6m, H=1.87m
- ・構造型式:ゴム引き布製起伏堰
- ・工 期:平成28年度～平成32年度
- ・事業費:約17.2億円



広島農業クイズ

①広島県の食料自給率は全国平均より高い

○ か ×

②広島県のお米の供給率は50%より高い

○ か ×

③キャベツの県内供給率は30%より高い

○ か ×

答え

① × (23%)

② ○ (72%)

③ × (7%)

ロータリー財団 100 周年記念 第 18 回 四クラブ合同親睦ゴルフコンペ
 日時 2017年5月14日(日) 場所 フォレストヒルズゴルフクラブ



Rotary THE ROTARY FOUNDATION
 ロータリー財団 100 周年記念
 第 18 回 四クラブ合同親睦ゴルフコンペ
 三原 RC ・ 竹原 RC ・ 瀬戸田 RC ・ 主管：広島空港 RC

優勝 内海勝議様 (三原 RC) 準優勝 伊達正治様 (三原 RC)
 3 位 藤原聖士様 (三原 RC) 4 位 大藤宗平様 (三原 RC)
 5 位 作田佳史様 (三原 RC) 6 位 鶴田秀樹様 (広島空港 RC)
 ニアピン
 福戸山裕弘様 (三原 RC) 大目木康行様 (三原 RC) 三好敏之様 (広島空港 RC)

